

# PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission  
熱い心、響かせる

リリース日: 2024年1月16日

## 能田昴執筆「濃尾震災(1891年)における子ども救済と特別教育史研究」のご紹介

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本学講師の能田昴執筆「濃尾震災(1891年)における子ども救済と特別教育史研究」についてご紹介いたします。

本書は「災害・感染症パンデミック・戦争等の災禍と子ども救済の特別教育史」の開拓をめざし、過去の代表的な災害における救済のあり様を、社会的弱者、特に子ども(孤児・障害児含む)の被災の実態について歴史的検証を行うことを目的とし、特に濃尾震災(1891年)における子どもの被災・救済の実態を実証的に解明することを試みたものです。

具体的には、国民国家形成期の明治日本社会と災害の関係性を明らかにしながら、歴史のなかで災害に晒される子どものいのちと発達を考えるため、濃尾震災による学校教育システム・児童生徒への影響に関する実態解明、濃尾震災を契機とした児童保護救済事業に関する実態解明を行いながら、子ども(孤児・障害児含む)の被災と救済・教育保護活動の実態を究明することが研究課題となっています。

この研究目的にしたがって、序章・終章および本論8章の全10章から構成されています。序章および第1章では研究レビューをふまえながら研究の課題を明らかにし、第1部では濃尾震災と国家・地域行政による救済対応の諸相に関する検討、第2部では民間篤志家による救済対応の取り組みに着目され、被災孤児の罹災実態や災害救済に伴って社会的弱者・「子どもへの特別な配慮」が発生する事例について検討が行われています。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

<お問い合わせ先>

尚綱学院大学 教育研究支援課 (大学広報室) 清野 正恵

TEL: 022-381-3501 Email: ksien@shokei.ac.jp

## ■目次

刊行によせて:災害と子ども被災・救済の特別教育史研究を拓く(高橋智)

序章 研究の課題と方法

第1章 明治期日本の災害・児童救済保護に関する先行研究の検討

第1部 濃尾震災と国家・地域行政による救済対応の諸相

第2章 濃尾震災と近代国民国家体制における社会的弱者の救済

第3章 濃尾震災による岐阜県下の子ども・学校の被害実態と教育復興の取り組み

第4章 濃尾震災による愛知県下の子ども・学校の被害実態と教育復興の取り組み

第2部 濃尾震災と民間篤志家による救済対応の諸相

第5章 石井十次による孤児救済活動と震災孤児院・岡山孤児院における取り組み

第6章 石井亮一による孤児教育保護活動と孤女学院・滝乃川学園における取り組み

第7章 森巻耳とA.F.チャペルによる濃尾震災被災盲人の救済活動と「鍼按練習所」

「岐阜聖公会訓盲院」の開設

第8章 長崎における濃尾震災義援活動と長崎慈善会・安中半三郎および

野村惣四郎による長崎盲啞院の設立

終章 研究の総括と今後の課題

あとがき

文献

■出版社 : 風間書房 (2022/10/15)

■発売日 : 2022/10/15

■言語 : 日本語

■単行本 : 266 ページ

■ISBN-10 : 4759924388

■ISBN-13 : 978-4759924381

■寸法 : 14.8 x 1.6 x 21 cm

